

# 中嶋興/VICを基軸としたビデオアート関連資料のデジタル化・レコード化Ⅲ

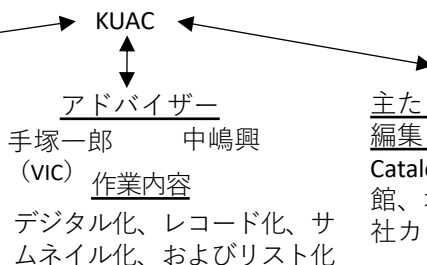
慶應義塾大学アート・センター（以下KUAC）

## 概要／課題

本事業は令和2、3年度メディア芸術アーカイブ推進支援事業「中嶋興/VICを基軸としたビデオアート関連資料のデジタル化・レコード化 [I, II]」を引き継ぐものである。戦後から現代にいたる日本のメディア芸術の諸活動を、「インターメディア」という枠組みにおいてとらえ直し、中嶋とVIC（ビデオインフォメーションセンター）の関連資料群を通してビデオアートが包含し得る縦軸である芸術史・映像史と横軸である同時代の多様な芸術活動との連関から、日本のメディア芸術史をよりよく精査可能にするための基盤構築を目指した。そのため、中嶋とVICのビデオテープのデジタル化、レコード化、サムネイル化、およびリスト整備、中嶋のビデオテープ以外の資料（主に写真資料）のリスト整備を行った。また、最新版の《MY LIFE》（中嶋とその他数人による）を作成するためイベント「マイ・ライフ勉強会」（上映+ディスカッション）を行った。

## 体制／手法

主たる調査・研究個人協力者：足立アン（Collaborative Cataloging Japan）、瀧健太郎（ビデオアーティスト）、中川陽介（メディアアーティスト）、飯田豊（メディア論 | 立命館大学准教授）、山腰亮介（アーキビスト）



主たる調査・研究・デジタル化・編集・保存協力機関：Collaborative Cataloging Japan、東京都現代美術館、埼玉県立近代美術館、株式会社カロワークス/株式会社東京光音

## 成果

■ 資料  
10月26日、コンテナ約10箱分の資料をKUACの収蔵庫へと移送。  
内訳は  
ビデオ1箱／書類4箱／書簡2箱／印刷物3箱

資料の移送



■ データ  
■ デジタル化されたビデオテープ：中嶋興 = 636本 / VIC = 43本  
■ ビデオテープのサムネイル：中嶋興 = 959本 = 2877枚 / VIC = 437本 = 1311枚

KUAC内で行うデジタル化



■ リスト  
■ 中嶋興ビデオテープリスト  
■ VICビデオテープリスト

■ イベント  
■ ステラーク × VIC（ビデオインフォメーションセンター）：モデュレート/メディエイト（日本居住時代の1970年代パフォーマンス記録上映&アーティストトーク）（2022年10月29日）  
■ 中嶋興生前葬（2022年11月30日）  
■ 「天王洲電市」上映+オンライントーク  
状況劇場「ジャガーの眼」（VIC記録 | 1985年6月15日 | 新宿・花園神社） / 「アーカイブ利用の可能性とは～状況劇場の秘蔵映像を巡って～」（2023年1月21日）  
■ マイ・ライフ勉強会（2023年1月22日）

■ コラボレーション  
CCJの特別プログラムである中嶋興特集に協力するとともに、連動企画の「マイ・ライフ勉強会」を行った

## 公開方法

- KUACのHPにてリストおよび報告書を公開
- デジタル化したデータをKUACアーカイブにて閲覧
- イベントの一部は報告書およびHPにて公開

## 文化・社会・経済的意義

- ビデオに記録されている多様な芸術活動・及び社会的諸事象の記録の開示による学際的・国際的研究の促進。
- ビデオのアーカイブ・モデルの理論的・実践的考察。
- ビデオ・アーカイブの活用および現在におけるクリエーションとの接続

## 残された課題

- 残りのビデオテープのデジタル化
- 一般的なデジタル化の方法の確立
- ビデオとアーカイブに関する有識者への取材

マイ・ライフ勉強会



VICビデオテープのサムネイル

